

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	保健体育課健康づくり推進室長 秦 美沙江	電話番号	0852-22-5425
----------	----------------------	------	--------------

事務事業の名称	食育推進事業		
目的	(1) 対象	児童生徒	
	(2) 意図	朝食を毎日とるなど健全な食生活を実践できるようにする	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する指導の充実及び望ましい食習慣の確立を図るために、「食の学習ノート」（平成26年度改訂）を作成し、すべての小学校に配付する。</li> <li>・中学校及び高等学校における食に関する指導の充実及び望ましい食習慣の確立を図るために、食育教材を作成する。</li> <li>・学校における食育の推進及び食に関する指導の指導力向上を図るために、食育担当教員等に研修を実施する。</li> <li>・栄養教諭の指導力向上と資質向上を図るために、栄養教諭の授業研究会を実施するとともに、栄養教諭研修を実施する。</li> <li>・食育の多角的効果の検討を行い、県内全域での食育の一層の充実を図るために、「食とスポーツ」をテーマに、大学等関係機関と連携を図り「スーパー食育スクール事業」を実施する。</li> </ul>		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	「朝食を毎日とる」児童の割合	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	朝食を毎日とっている児童数/県内の小学校における児童数	取組目標値					
			実績値	96.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	10,665	12,399
うち一般財源 (千円)	3,562	1,402

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・朝食の摂取率（朝食を毎日とる）は、全校種ともに改善傾向にあるが、学年が上がるにつれて欠食率（時々とる及びほとんどとらない）が高くなっている（高校3年生の男子14.0%、女子13.6%）
- ・食育の全体計画の作成率は、小学校95.7%、中学校89.6%、特別支援学校は83.3%であるが、高等学校は35.0%にとどまっている。
- ・食の学習ノートは全小学校で活用しており、島根県が全国に先駆けて作成した教材として、全国的にも評価が高い。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・各種研修会及び啓発活動の実施により、朝食の重要性の認識が高まり、その質も高まりつつある。
- ・「食の学習ノート」（26年度改訂版）の配付により、食に関する指導が行いやすくなった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- ・朝食の欠食率が学年が上がるにつれて高くなっている。
  - ・食育の全体計画の作成率が100%になっていない。
  - ・食育の取組が十分に行われていない学校がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- ・食育に関して、各家庭の興味・関心や取組に差がある。
  - ・栄養教諭を中核として学校全体で食育を推進していく体制が十分に整っていない。
  - ・朝食についての保護者への啓発が不十分である。
- ③原因を解消するための「課題」
- ・管理職へ食育の重要性についての理解促進を図る働きかけを行う。
  - ・食育推進の中核となる栄養教諭の資質向上に向けた研修内容を検討する。
  - ・家庭を巻き込んだ食育のあり方、働きかけ方を検討する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・各種説明や研修で管理職や教職員に対して食育の必要性、重要性を説明する。
- ・栄養教諭未配置校における食育推進のあり方を検討する。
- ・学校・家庭・地域を巻き込んだ食育が推進できるよう、研修内容の充実や具体的方策を検討する。

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）